

会議名	第3回千郷地域協議会		公開
日時	令和4年6月19日(日) 午後12時45分～午後16時20分	場所	西部公民館 多目的ホール
出席者	(委員) 今泉弘、竹下和弘、老平良久、岩倉明、岡山雅仁、今泉雅晴 大森良則、菅野行洋、熊谷明、菅沼基義、竹下秀則、岩田常文 熊谷三四四、近藤武、高井加奈、柳澤直美、神谷実加、瀧下一美 山本孝弘、牧野勲、伊藤雅明、山本紀子、岡山薫、浅井知寿子		
	(事務局) 千郷自治振興事務所：笹田明男所長、宮本博之(正担当) 近藤由幸(副担当) 企画部市民自治推進課：加藤千明参事		
欠席者	(委員) 今泉昇一、杉浦幸雄、 古瀬 剛、柴田洋子	傍聴者	9名
配布資料	次第 地域活動交付金審査会審査資料一式 審査除外者一覧表 会場レイアウト		

議題・議事・発言等(要点記録)

1 開会及び会長あいさつ

今泉会長によるあいさつの後、本日の会議成立の報告を行った。

会議に先立ち会議録署名者を会長より「岡山雅仁」委員、「大森良則」委員の2名を指名し両委員ともに承諾がされたため、次第に従い説明に移った。

議事に入る前に事務局より、本日の議事である地域活動交付金の審査方法及び注意事項について以下のとおり説明が行われた。

(1)説明5分、質問7分、採点3分。なお事前に通知した質問事項についての回答は説明時に加味して行う。

(2)説明時にタイマーを事務局より申請団体に対しお渡しし、1分前になったら事務局よりボードにてお知らせする。

(3)採点票記入欄には活動に対する応援メッセージや疑問に感じた理由を記入する。

また、傍聴者への注意事項として、審査の際に質問できるのは審査する地域協議会委員のみに限定されていること、さらに全体として、携帯電話をお持ちの方は、電源をお切りいただくかマナーモードに切り換えていただくことをお願いし事務局からの説明を終え、次第に基づき議事に移った。

2 議事

第1号議案 令和4年度千郷地域自治区地域活動交付金審査会

(1)公開審査(プレゼンテーション)

※全申請団体共通事項としてプレゼンテーション終了後、本地域協議会より申請団体に対し事前に質問がされている内容に対するご回答を聞き、それらを踏まえに質疑応答に移ることとされている。

審査①

団体名：ちさと郷土研究会

事業名：『千郷物語マップ』・『千郷八城小幟』・『野田城の戦い450年小幟』作製事業
＜事前質問Q1＞マップは、小中学校に配布だと偏るので、各世帯に配布したらどうでしょうか？または、今後そのようなお考えはありますか？

＜回答A1＞マップを全世帯に配布することは考えていません。また、今後もそのような考えはありませんが、せっかくのマップであるので、多くの千郷地域住民に見ていただけるよう、千郷地域で開催される催し等の際に活用していただくなど、そうした取り組みは今後考えてマップの存在アピールを推進していく方針です。

＜事前質問Q2＞小幟の具体的な設置期間は？今年度のみ設置する予定であり継続性についてどのようにお考えか教えてください。

＜回答A2＞作製する小幟は野田城の戦い450年のものと、千郷地域内に存在する八城の小幟がありますが、野田城の戦い450年のものは具体的には本年度の1～2月の時期がこれにあたるとして、それまで千郷地域の住民の皆さん、また、市内外など来訪者にとって目に入る場所を選定し現時点では本年度中は設置し管理をしていく予定です。また、八城の小幟については、城跡に設置することを考えています。これについては、できる限り継続して設置をしたいと考えています。

＜事前質問Q3＞小幟の管理、設置場所、設置基準はどのようにしていますか？

＜回答A3＞管理は本会が行うこととし、場所や設置の基準については先の質問にもありましたとおり、なるべく多くの方に見て貰える場所を基本として、土地所有者及び施設の場合は施設管理者等に承諾が得られる場所に設置することを基本に考えています。

(※審査会の場での質問事項：なし)

審査②

団体名：ちさと郷土研究会

事業名：『千郷物語』作製・活用事業

＜事前質問Q1＞今後、有償配布は実施する予定はありますか？

＜回答A1＞本会としても今後そうした取り組みを考えています。

＜事前質問Q2＞有償配布するお考えがある場合、有償配布の1冊の販売金額予定は？具体的な金額が決定しているようであれば教えてください。

＜回答A2＞具体的な金額はまだ検討途中であり、高価な金額で買っていただくことができれば嬉しい事ではあるものの、それよりも多くの地域の方に読んでいただきたい気持ちが大きい事から、出来るだけ安価な価格設定を考えています。現時点では1,000円程度が妥当ではないかと検討していますが、具体的なことがわかりましたらあらためてお知らせ、また、ご注文の受け付けをお知らせ致します。

(※審査会の場での質問事項)

＜質問Q1＞本の内容についてはどのような事が書かれているのでしょうか？

＜回答A1＞千郷地域の成り立ちや、歴史上の主な出来事などを出来るだけわかりやすくまとめています。

審査③

団体名：川田原区自治会

事業名：「川田原公民館を利用した区民活動活性化事業」

※プレゼンテーション開始冒頭に、事前質問の内容にお答えする形で本会のプレゼンテーションとさせていただきますことの申し出があり、これを地域協議会として認めプレゼンテーションに移った。

<事前質問Q 1>今までに6回で約187万円の交付金を活用されていますが、是非6回活用されている経緯や流れを教えてください。

《回答A 1》川田原区自治会は区民の人数も多く、様々な意見がある。そうしたことを地区の課題と捉え対応してきた結果であります。

<事前質問Q 2>今回申請されたこれら備品を導入する効果として、新たな事業や独自の事業について今後、川田原区の考えているプランを教えてください。

《回答A 2》備品を導入することとで、区民の地域活動が新型コロナウイルス感染症の発生以前のように活発化がされ、区民の交流が推進できるような新たな活動を検討し実施していく方針としています。

<事前質問Q 3>昨年度の実績報告から読み取れないため質問ですが、今年度あえてプラスする異議の説明をしてください。

《回答A 3》今まで活動を自粛していたものが昨年度導入したことで、少しずつ活動が再開できるようになった。活動をあらためて再開したことにより気づいた点も多く、活動にプラス導入する必要性が生じたことから、今回の申請に至ったためです。

<事前質問Q 4>上記質問にも関係しますが、昨年度の申請により50万円近い備品導入した実績やその効果についてあらためて教えてください。

《回答A 4》先ほども少し触れましたが、活動が再開でき、再開するだけではなく、区民の皆さんが安心して参加できる仕組みができた事が大きな成果や効果として感じています。

<事前質問Q 5>今までに6回の申請を重ねて来られたことに感嘆しますが、その動機・団結力の源を教えてください。

《回答A 5》区民の皆さんの協力が得られる事が大きいと思いますが、それらを中心となって動く役員方のご尽力のお陰であると思います。幸いそうした方が川田原区には多く居るため、先頭に立って区民を導いていただいていることが団結力であったり、結束力になっているのではないのでしょうか。

(※審査会の場合での質問事項：なし)

審査④

団体名：片山区自治会

事業名：「公民館・広場整備事業」

<事前質問Q 1>来年度以降、継続的な事業は何かお考えでしょうか？

《回答A 1》今回の課題解決のための申請内容については単年度で完了と考えていますが、良好な状態で機能を回復し、今後は区民による交流促進が図られる取り組みを検討していく方針です。

<事前質問Q 2>具体的な支障となる内容を教えてください。

《回答A 2》片山区の拠点である公民館や広場では多くの地域活動が開催されていますし、今後も継続的に行われていくこととなります。今回申請させていただいた課題をクリアしておかなければ、そうした区民活動が小規模化、または最悪の場合、活動が出来なくなってしまう恐れが生じてしまいます。土留めとしての機能回復をすることとで、降雨による広場への土砂の流入により、せっかくの区民のための広場が有効に活用出来ない状態になるのだけはさけなければならないと考えています。

<事前質問Q 3>昨年の利用状況に広場を使った内容がわからないため、具体的な活動や利用内容を詳しく教えてください。

《回答A 3》区民による公民館、また広場を活用した地域活動は、区民全体での活動や趣味の活動、また高齢者だけの活動など年間を通じ様々あります。なかには、毎月必ず開催されている活動もあり、片山区民として公民館は大事な拠点として位置付けられており、今後ますます地域活動が活発化していくような仕組み、また、そうした事で交流促進が図られることを目指しています。

(※審査会の場合での質問事項：なし)

審査⑤

団体名：稲木GHC委員会

事業名：「健康づくり促進化事業」

<※事前質問なし>

(※審査会の場合での質問事項)

<質問Q1>参加者の想定が「150名」とあるが、受付の際など混雑することが予想されます。新型コロナの感染対策はどのようにお考えですか？

《回答A1》屋外競技ではあるものの、当然ながら3密を避けるような配慮はする。

<質問Q2>散歩コースに四季折々のポイントや見所はありますか？

《回答A2》現時点では、特別本会として見所を新たに整備することは考えていないですが、コースには田舎ならではの農村風景が見られることから、そうした風景の四季折々の変化が見所ではないかと考えています。

<質問Q3>ベンチを設置し散歩の途中の休憩する際に利用を促すとのことですが、今後の管理はどのようにお考えでしょうか？

《回答A3》本会にて定期的に点検するなど管理はすべて本会にて行います。

<質問Q4>今回の申請にあたり調査をしたとの事ですが、具体的にどのような調査をしましたか？また、その結果はどうでしたか？

《回答A4》日頃どのような方がどういった時間帯に散歩をしているのか。また、どういった道を散歩しているかなど実態把握として調査し、今後のコース選定に活かすため実施しました。日頃多くの方が稲木地区の方のみならず農道や野田川の管理道路を利用し散歩していることがわかりました。特に午前中や夕方に散歩している方が多い事がわかり、お一人で散歩している方や夫婦で散歩の方など、大半が1名もしくは2名程度で歩いている姿を良く見ました。

<質問Q5>ベンチを設置するとの事ですが、今後中長期的にこうした取り組みを実施していくお考えであることはわかりましたが、今後継続実施していくための具体的なお考えはありますか？

《回答A5》本会が主体的に実施する催しについては、こうした取り組みに賛同していただける協力者を地区の中にも広く募り、今後も絶えてしまわないようにしていくことを考えています。また、これが千郷地域に散歩コースとして自然に地域住民が認知していただき根付いてくれれば残っていく取り組みとなり得るのであろうと考え、PRや情報周知等を積極的に行っていこうと考えています。

審査⑥

団体名：豊島区自治会

事業名：「豊島区にコミュニティー広場を」

<※事前質問なし>

(※審査会の場合での質問事項)

<質問Q1>今年度この事業は最終年度であるとの事ですが、自己評価としてはどうですか？

《回答A1》広場の完成が今年度であり、広場を整備する事が最終的な目的では無いため、今後これをどのように活用し、区民や近隣の多くの行政区の方に利用して貰えるよう情報発信や、交流促進のされる仕掛けなど知恵を使って地域の様々な催しなどにも積極的な利用促進を図っていただければと思っています。自己評価の低いのはまだ、そうした利用頻度が低く、認知不足は否めない点があるとして考えているからです。

<質問Q2>具体的な場所、また、何か目印となるようなものはありますか？

《回答A 2》豊島地内の一級河川豊川沿いの堤防道路を下流に向けて進んでいただくと、右手に見えるためすぐに目視できると思いますが、目印となるような建物等はないため、北側より進入するとわかりづらいと思います。今後は案内板など必要になれば検討をしていきます。

＜質問Q 3＞最終的な目的は？

《回答A 3》先ほど少し触れましたが、区民のみならず千郷地区の住民が集まり、交流促進できる場所と位置付けられることが目標、また目的としています。そのため、是非一度お越しいただければと思いますので、よろしくお願します。

審査⑦

団体名：中市場区自治会

事業名：「大野田城跡整備事業」

＜事前質問Q 1＞市指定文化財であるとのことですが、市からの支援や協力は得られませんか？

《回答A 1》絶大な協力が得られればそれに越したことはありませんが、現時点では現場で一緒に職員と立会い現状把握の後、市としてどのように整備、また保存をしていく方針とするのかを一緒に考えていくくらいで、今回申請における市の協力は特別ありません。ただし、大野田城跡については担当職員によればかなり良好な状態での城跡であることがわかったため、今後市により整備や保存方針、また計画など打ち出された際には共に事業を進めて行きたいとは思っています。何にしましても中市場区としては今後計画的に出来ることを少しでも進めて行きたいと考えています。

＜事前質問Q 2＞複数年計画のその後は？整備後の具体的な狙いや活用方法など現時点でのお考えを教えてください。

《回答A 2》中市場区としても、さらには千郷地域としても重要な歴史的遺産として認知してもらい、地域の内外、また市においても内外からの来訪者が自由に見学できるような状況になり、これに伴い地域の活性化に繋がればと考えている。

(※審査会の場合の質問事項)

＜質問Q 1＞竹藪だと根があることが考えられるが、重機等による大規模な作業にするつもりはないか？

《回答A 1》本年度の活動ではそこまで大きなことは考えてないが、今後活動を進めて行く中で、必要に応じ対応を検討していきたいと考えている。

＜質問Q 2＞年間計画の6、7、8月が活動無しとして空欄となっている。通常草刈りが必要な時期ではないかと感じるが、何かお考えがあるのでしょうか？

《回答A 2》通常の草刈りの場合言われるとおり草刈り作業の時期ではあるものの、昨今の気候は酷暑ということもあり、活動に出役していただく区民の安全を確保するためあえて暑い時期ではなく9月頃より事業着手する計画を考えた。

＜質問Q 3＞作業人員は15名と記載されているが、皆同じ方によって活動をされるのでしょうか？仮にそうだとすれば、構成員が303名も居るのに15名の方だけに負担が大きいと思いますが、そのあたりのお考えはどうでしょうか？

《回答A 3》はじめての活動であり、今後はその都度協力していただける区民を巻き込みながら、地区の事業として定着していきたい。

審査⑧

団体名：千郷西こども園保護者会

事業名：「木育講座」

＜事前質問Q 1＞成果の判断の基準は、どのようにお考えでしょうか？

《回答A 1》具体的な判断基準は特に設けていませんが、本市は大部分が森林に囲まれ

ており、そうした木がどんなものに活用されているのか、また、木の特性など知るきっかけ、また、木に直接ふれあう機会を幼少の頃に体験することで、子ども達の豊かな感受性や健やかな成長を育むためのひとつになればと考えています。

(※審査会の場合での質問事項)

<質問Q1>保護者の参加は考えていませんか？

《回答A1》園長さんとも話し合いましたが、活動する遊戯室があまり広くないことから、このような状況下ですので、最小人数での活動として考えています。

<質問Q2>木の講座は小さいお子さんには難しいのではないのでしょうか？

《回答A2》講師でお願いしている大森木材(株)の方には活動の趣旨をご理解いただいていますので、あまり難しい話などせず、とにかく木はどういうものか、また、どういったものに活用されているのか、実際に木で作られた様々なおもちゃで遊んでもらい感覚を知ってもらうなど、講座となると難しく聞こえてしまいますが、そのような事を考えています。

<質問Q3>木のこま10個では少なくないですか？

《回答A3》これも園や役員とも検討した結果ですが、出来るだけ最少人数でと考えていますので、十分足りると考えています。

公開審査終了

会長により、この後非公開による審議に入るため、事務局による準備が整うまで休憩に入る旨の説明、及び申請団体や傍聴者については審議は非公開であるため、会場より退出していただきたい事のお願いがされ、休憩に入った。

(2)非公開の審議

■休憩終了後、事務局進行により、集計結果報告を行った。

※申請団体毎に、審査票に「審査しない」とチェックした委員は離席。

申請毎に意見・コメントを読み上げ、以下の内容について協議。

- 無条件採択
- 意見を付して採択（努力義務）
- 条件付き採択
- 一部不採択（補助対象経費の一部減額措置等）

■決定事項

申請事業毎に協議を行い、審査結果についてすべて承認された。

また、事前に委員に対しお渡ししていた申請団体審査資料については個人情報保護のため事務局により回収し、代わりとして傍聴者等へ配布した資料と同様な書類を配布。

第2号議案 地域活動交付金事業2次募集について

事務局により、今回の交付金募集は予算枠6,355,000円に対し、2,200,000円の申請があり、審査において全ての団体の申請内容に対し採択となったため、予算執行可能枠として、4,155,000円がまだ活用できる状況になっている説明がされた。

このことに伴い、千郷地域協議会として追加（第2次）募集を実施すべきかどうか協議を行った。

さらに、判断材料として、事務局より次のとおり以下のとおり補足説明がされた。

募集期間中の相談状況については、今日の審査までに、事前相談や申請するつもりでいたなど、地域の活動団体より聞いてはいないということ。

令和元年度からは事前相談を年間通して随時受付を実施することとして変更しており、事前相談についても昨年度中に地域へ回覧するなど広く周知を図って実施している。

他地域自治区では、ほぼ1ヶ月の申請受付期間に対し、本地域協議会では2ヶ月間の受付期間を設けており、昨年度からの事前相談期間も含めれば団体による申請にあたっての検討期間は十分であったと感じている。

地域活動交付金も10年目になり、それぞれの団体が地域活動交付金の趣旨を理解、また見直しがなされ、以前と比べ申請件数が若干減少したと思われるが、一方では今後、地域活動が千郷地域協議会により策定された「地域計画」において、課題解決に向けた実施事業の中で活発になることが期待される。

「千郷地域の課題解決や活性化に向けた取り組みがあるかどうか」であり、予算の枠がまだあるとか、資金が残っているという判断ではないので、そこは慎重に判断等をお願いしたいとのこと。

2次募集を実施することとなれば、千郷地域協議会の開催も増え、当然ながら審査会も再度開催する必要が生じ、委員にはその都度出席いただく必要が生じ、委員の皆さんへの報償費の支払額についても当然嵩むこととすること。

以上のような事を踏まえ、慎重に協議していただきたいことが補足された。

本議案について、会長より意見や質疑について委員に聴取したが、特に意見や質疑等もなく、採決に移った。

採決の結果は次のとおり。

○再度募集を実施したほうが良い・・・0名

○再度募集は実施しない・・・・・・・・・・24名

○未挙手・・・・・・・・・・・・・・・・・・1名

■決定事項

採決の結果、本年度は再度募集はしないこととして承認された。

3 連絡事項

(1)第3回千郷地域協議会地域計画策定分科会の開催日程について

令和4年7月6日（水）19：00から 西部公民館多目的ホールにて開催予定

(2)第4回千郷地域協議会の開催日程について

令和4年7月20日（水）19：00から 西部公民館多目的ホールにて開催予定
以上の事について会長より連絡がされた。

4 閉会